

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスふれあい・五日市		2025 年 2 月 10 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・必要に応じてパーテーションを使ったり、療育内容を考えたり、エリア分けを行い、環境調整を行っている。	・幅広い年齢層や特性、活動内容、スタッフ配置の人数と子どもの数を考えると、狭いと感じる時がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・基準人員＋2名以上の配置を毎日している。そのため、重度の子どもさんへの個別対応もできている。 ・活動内容により、いつも以上にスタッフ配置を行い、安全に活動できるようにしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・パーテーションで室内を区切ることで、子ども達が活動に集中できるように配慮している。 ・どこに何が置いてあるか、何をやる時間かなど、絵カードや写真カードを用いて視覚的に分かりやすくしている。	・エレベーターのない2階であるため、建物の構造上、車いすなどの対応は難しい状況。階段には手すりや転落防止の柵を設置して、階段昇降の際には細心の注意を払っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・毎日清掃を行い、衛生面でも環境整備を心がけている。 ・危険がないか常に気かけ、子どもたちが安全に心地よく過ごせる空間にしている。	・聴覚に敏感なお子様に対して、イヤーマフなどの必要性を検討していく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	・子どもの状況に合わせて、クールダウンが必要であれば、簡易的な仕切りを設けて、個室区間を作ることができるようにしている。 ・子どもの特性に合わせて、3面もしくは4面パーテーションで個別空間を作り、刺激の統制を行っている。	・クールダウンできるような完全な個室がない。建物の構造上、個別の部屋を準備することは限界があるが、安全に配慮し、環境改善に努めている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・管理者を中心に、そのほかの職員の意見等を踏まえながら、年目標の設定と、ひと月ごとに振り返りを実施し、業務改善に努めている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・保護者様評価を年に1回実施しており、一緒に保護者様のニーズや意向調査のアンケートを実施している。ご意見を踏まえ、業務改善につなげている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・年1回以上、管理者が職員と面談を実施している。 ・職場内の心理的安全性を高め、日々職員間で情報共有し、業務改善につなげている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	・第三者評価は受審していないが、年1回法人本部による内部監査を受け、業務改善につなげている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・外部研修に積極的に参加している。 ・日々の情報共有により、職員の強みを活かし、質の向上を図っている。	・年間研修計画を立て、事業所内研修をさらに充実させていきたい。 ・パートスタッフは外部研修に参加する機会がほとんどないため、日々のミーティングで、支援の質向上を図ってきたい。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・法人のホームページにて公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・日々の子どもの様子や、保護者様へのお話をお伺いし、ニーズや課題分析を行い、計画を作成している。	・子どもに関わる全ての職員で計画作成に携わっていく中で、より多面的に支援を検討できるようにしていきたい。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・職員間の日々のミーティングで、子どもの様子を共有し、それを踏まえて、計画を作成している。	・日々の様子やミーティングで、子どもの状況把握を行い、児童発達支援管理責任者の見立てにより計画作成しているため、全職員の意見が反映されるようなケース検討会議の充実を図りたい。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・職員全員が計画書を周知できるようにしている。パートさんに関しては、支援前のミーティングでその子の目標について確認を行い、日々の支援につなげている。	・共有できるような仕組みづくりをしているが、個人任せではなく、常にその子の目標が意識できるような方法を検討していきたい。

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・事業所独自の様式を使用しアセスメントを行っている。 ・日々の子どもの様子を気づきを含めて記録し、職員間で共有している。	・今後必要に応じて、フォーマルアセスメントを取り入れて、主観ではなく客観的に評価できるようにしていきたい。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・どのような支援を提供するのか、具体的にわかりやすい文章で表現している。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・職員全員で話し合いながら活動プログラムの立案を行っている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・子どもたちの興味関心や、特性、曜日のメンバーなどを見ながら、主体的に取り組み、様々な経験が積めるようなプログラムにしている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・子どもの特性や発達段階を考慮し、その子に合った個別活動・集団活動を考えている。	・1人ひとり発達段階は違うので、職員が潤滑油となり、個別から小集団、集団へと導いていけるように意識していく。集団活動の中でも個性も考え、よりきめ細やかにグルーピングやサポートを行っていく。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・当日の活動の流れや療育内容を周知できるように支援前のミーティングを行っている。送迎等でミーティングに参加できない時には、個別にミーティング内容を申し送りしている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・送迎等で当日のスタッフ全員での振り返りは難しいが、気づき等、日々のミーティングで情報共有を行っている。 ・その日ごとの気づきやメモを記入している。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・支援に対する子どもの様子を日々記録している。 ・ちょっとした変化や気づきも記録に残し、職員で情報共有を行っている。	・単なる観察記録にならないように気を付けてはいるが、より効率的な記録方法、メモの残し方なども検討していきたい。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・定期的にモニタリングを行うとともに、家庭や学校、デイでの様子で変化が見られた時には随時情報把握のためのアセスメント、見直しを行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	・様々な活動を計画し、子どもの状況に合わせて支援を行っている。	・今年度から5領域での支援を意識しているため、4つの基本活動への意識が薄れがち。再度職員間で、4つの基本活動を確認する。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・自由時間の使い方、報酬、制作材料、買い物、チャレンジカードなど、自分の思いが言えたり、自己選択・自己決定できるような仕組みづくりを行っている。子どもによっては絵カードを用いたりしながら、自己決定できるようにしている。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・児童発達支援管理責任者、管理者を中心に参画している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・担当者会議の参加、学校との情報共有を行い、連携した支援を提供できるように努めている。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・学年が変わったときには、担任の先生に必ず挨拶をし、顔の見える関係性作りをした上で、日常的に情報共有、連携できる体制作りを行っている。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	・相談支援専門員や保護者様を通じて、就学前の状況について情報共有を行っている。 ・移行支援計画書があれば、確認させていただいたり、可能であれば、就学前の関係機関に見学に行かせてもらうなど連携を図るよう努めている。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	・相談支援専門員を通じて、情報提供を行ったり、事業所間で必要に応じて行うように努めている。	・全員にできているわけではないので、情報提供や移行支援会議の出席を求められれば情報共有に努める。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4	・西部療育センターでの研修に参加している。	・訓練の見学、支援方法について専門的なアドバイスをもらっていたが、コロナにより外部見学が難しくなっている。保護者様にも協力いただきながら、連携を強めていきたい。

運 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	・地域の公園や公共施設へのお出かけ、こども食堂などで地域の方との交流は見られる。	・放課後児童クラブや児童館の理解も必要なためなかなかハードルが高い。法人内の別の地域の放課後等デイサービスとの交流等の機会を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	・協議会に属する「放課後等デイサービス連絡協議会」に加盟している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・連絡ノートや送迎時にご家庭での様子や事業所での様子を情報共有し、状況の把握、共通理解に努めている。また、必要に応じて、メールや電話でお話させていただいている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	・事業所として保護者様に対する研修を開催はしていないが、研修資料の配布や、個別に保護者様の相談に応じている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時に説明を行っている。説明後は不明な点がなかったか確認している。変更があれば、適宜説明を実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・面談やモニタリング時に移行を確認している。気になることがあった際には、その都度情報共有できるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	1	・保護者様に計画と一緒に確認していただき、不明点や変更してほしいところ、ご要望を確認している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・保護者様の悩みを共感的に聞くこと、相談しやすい関係性作りを大切にし、必要に応じて助言や家族支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8		・昨年度は保護者様が参加できるイベントを開催したが、お仕事の都合等で参加率が非常に低かった。内容も含め、今後検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・重要事項説明書にて説明を行っている。 ・苦情などの連絡を受けた際には、速やかに職員間で状況の確認を行い、保護者様へ状況報告と今後の対応について説明していく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・会報の発行は現在行っていない。不定期ではあるがSNSを使って日々の様子を発信している。 ・月間の行事予定表の配布している。	・SNSでの発信について、保護者様にもっと周知していただけるように努めていく。 ・日々の様子を個別に写真がほしいというご要望が多かったため、療育に影響しない範囲でこどもの写真を撮り、個人情報に注意しながら写真で日々の様子をお伝えできるように努めていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・施設内の作品展示、SNSの写真、ミーティング、保護者様への送迎時の申し送りの際にも留意している。	・契約時に個人情報の取り扱いについて意向確認を行っているが、ご意向も変わることもあるかもしれないので、年度ごとに確認していくか検討していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・子どもの特性や理解度に合わせて、イラスト、写真、文章など伝え方を工夫しており、成長に合わせて適宜見直しを行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	4	5		・事業所が狭く、物理的にも困難なため、地域住民を招待する行事は行えていないが、地域住民との交流は必要だと思っている。
非 常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・マニュアルを策定しており、職員に周知するとともに定期的に訓練を行っている。	・いつでも閲覧できずに事業所の入り口にファイルを設置しているが、保護者様への周知が不十分なため、事業所での対応や取り組みについて発信し、保護者様への周知を図っていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・年間スケジュールを作成し、災害時に必要な訓練を実施している。	・避難訓練は子どもにとって楽しい活動ではないため、今年度は月間予定表の活動プログラムに提示しておらず、保護者様への周知が不十分だった。今後は事業所での対応や取り組みについて発信したり、定期的に行っている避難訓練も月間予定表に提示して、周知を図っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・利用開始前には健康状態について必ず保護者様に確認を行っており、職員間で共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・アレルギーの有無について、保護者様からの情報で対応している。必要に応じて、医師の指示書に基づいて対応していく。	

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	・安全計画を作成し、日ごろから、子どもたちにとって危険な場所はないか気を配り、安全管理について職員の意識を高めている。	・事業所での対応や取り組みについて発信し、保護者様への周知を図っていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	・保護者様に緊急連絡網の作成にご協力いただき、ご家族様との連携がスムーズに図れるようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	・事故報告書など組織全体として共有している。また、事業所内では情報共有ノートやミーティングで内容を確認し、スタッフ全員でその情報を共有し、事故再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・県・市主催の研修にも積極的に参加している。また、社内マニュアルを作成し、委員会を実施し、意識向上のためのスタッフ研修を実施している。	・職員一人ひとりが、日々の支援を振り返る中で、自分たちの支援について常に考えられるような職場風土を継続していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	・指針の整備、委員会の実施、スタッフ研修を実施している。身体拘束を行う可能性がある場合には事前に保護者様に説明し同意を得た上で、マニュアルに沿って適切な対応をしていく。	